

特集：斑点米カメムシ類の発生と防除対策

(本文1～18ページ参照)



イタリアンライグラス上のアカスジカスミカメ成虫



(岩手県農業研究センター所蔵)



クモヘリカメムシ (左：成虫、右：1齢幼虫、横須賀知之氏原図)



頂部黒変粒



側部しみ状粒

アカヒゲホソミドリカスミカメによる被害米

放飼によって発生した斑点米 (松崎卓志氏原図)



側部斑紋状粒



側部斑紋状粒

トゲシラホシカメムシ

スミスハダニの発生生態

(芦原 亘氏原図、本文27ページ参照)



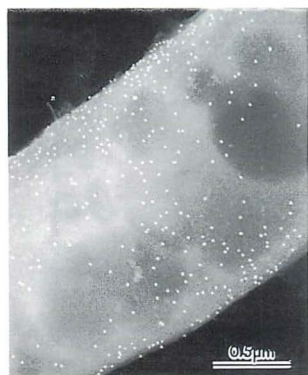
左：スミスハダニ雌成虫



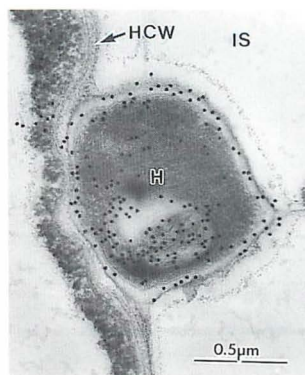
右：スミスハダニによるブドウの被害

エンドファイト研究の現状と展望

(古賀博則氏原図、本文31ページ参照)



ペレニアルライグラス葉鞘組織を抗エンドファイトで免疫処理後、金コロイドで標識して反射電子検出器で検出した反射電子像。エンドファイト菌糸表面に金コロイドが結合しているのが明瞭に認められる。



トールフェスク葉鞘組織内のエンドファイト菌糸のpost-embedding金コロイド法での免疫電顕像。金コロイドがエンドファイト菌糸の細胞質および細胞壁と結合しているのが認められる。

H：エンドファイト菌糸

HCW：宿主細胞壁

IS：細胞間隙